

## 「無園児家庭の孤立対策事業」

～定期預かり・子育て広場・SNSでの相談事業～



### 【現状と課題、課題を踏まえた事業の必要性】

当団体は、2002年の法人設立以来、「子育ては地域みんなで」を合言葉に地域の子育て支援に取り組んできました。待機児童問題により、被虐待児の兄妹がすぐに保育所に入園できなくて、当団体で何度も緊急の預かりをした経験をきっかけに、2017年に瑞穂市で初めての小規模保育所を設立。それまでの活動と並行して保育事業にも取り組んでいます。入園している保護者は毎日、園で職員にあれこれ相談できる一方、「無園児」は、孤独な子育てに陥りがちです。初めての育児には誰でも戸惑い、毎日「これでいいのか」と悩んでいるのですが、加えて、母親のうつなどの精神的疾患や、発達に課題のあるお子さんや家族・夫婦の人間関係の悩みがあったり、多胎児世帯や多子世帯などは、支援センター等にも出かけにくく、家庭にこもりがちになったりしてしまいます。それは、子どもの姿が見えなくなる危険な状態です。子ども家庭庁が「子ども誰でも通園制度」を実現しようとしているように、通園できることはその解決の糸口になりうる非常に有効な取り組みですが、待機児童が数十人もいる瑞穂市では実現するのはまだまだ先の話です。

子どもを預けられる制度としては、保育所の他に一時預かりやファミサポなどの制度がありますが、瑞穂市は一時預かりも定員いっぱいのごが多く、ファミサポは利用料の負担が大きいという理由で、リフレッシュのための利用は少ないのが現状です。

子育てが大変な無園児家庭の保護者が、安心して人に子どもを預けられることで、「預けていいんだ」「助けてもらえるんだ」「ひとりぼっちじゃないんだ」という安心感を感じられることがまずはとても大切だと考えます。今回の事業では、定期的なお子さんの預かりと、それをきっかけにして人や制度につながることで、孤独な子育てから抜け出し、地域の人たちと共に育てる子育てに進む一歩にしたいと考えこの事業に取り組みました。

### 【事業の概要】 助成額 265万円

無園児家庭の保護者の孤立を防ぎ、地域とのつながりをつくり、気持ちに余裕をもって子育てができるようにすることを目的に、定期的なお子さんの預かりと、保護者の交流・相談の場を作り出す事業。5回を1クールとして、5回目は保護者の交流会を行い、他の保護者やスタッフ・ピアサポーターとのつながり作りのきっかけにします。そこで悩みや人となりを知ること、継続した預かりが必要か、どんな支援が有効かを見極めていくことができます。預かりでは、特性を持つお子さんへの配慮、保育園の給食の提供など工夫し、1対1の安全で温かい保育をします。お子さんにとっても、他の子と関わる経験ができるいい機会になります。

### 【事業の内容】

#### (1) 定期預かり

- ・5回を1クールとして定期的な保育をします。1回目～4回目は、保護者の自由時間とし、5回目は保育の部屋とは別の部屋で保護者の交流会を行います。  
預かり時間は9:30～12:30
- ・お子さんの昼食は、毎回、当団体が運営する保育園の給食を提供。
- ・毎回5～6人を一緒に保育することで、同年代の子との関りも経験できます。
- ・保育者は、保育士や子育て支援員などで、できるだけ1対1。
- ・送迎は基本保護者だが、保護者ができない場合はスタッフが送迎します。

## (2) 子育て広場事業と SNS での相談事業

定期預かりを行う場所で、子育て広場を月に 2 回行います。そこにはスタッフだけでなく、一般の親子、そしてピアサポーター（2 人目・3 人目の乳幼児を育てている少し先輩ママ）にもお子さん連れで参加・協力してもらって、同世代の保護者とのつながりをつくっていきます。

また、定期預かりの時に団体の公式ラインに登録してもらい、チャット機能を使って、困った時に気軽に相談できるようにしていきます。

## 【事業の実績と成果】

### (1) 定期預かり 第 1 クールから第 8 クールの新規利用人数 43 名（41 組）

クール	実施日	1 クールののべ 預かり人数(子)	交流会参加人数(親)
1	4/12、4/19、4/26、5/10、5/14	20 名	3 名
2	5/17、5/24、5/28、5/31、6/7	22 名	1 名
3	7/19、7/26、7/30、8/2、8/6	30 名	4 名
4	8/23、8/30、9/6、9/13、9/20	31 名	4 名
5	9/27、10/4、10/11、10/18、10/25	32 名	4 名
6	1/10、1/17、1/21、1/24、1/31	31 名	5 名
7	2/7、2/10、2/14、2/18、2/21	28 名	3 名
8	2/28、3/4、3/7、3/14、3/21	30 名	1 名
合計	40 回	224 名	25 名

瑞穂市の子育て支援課や子育て広場と連携して、窓口での相談、乳幼児健診、広場利用者らにチラシを渡してもらい、支援が必要そうな方にチラシを渡してもらいました。そのため、この事業では、新規の無園児家庭 20 家族以上とつながることを目標としていましたが、それを大きく上回る 41 家族とつながることができました。定期預かりの後半では、定員 6 人に対し 15 人以上の申し込みがあるときもあり、この事業が周知されていることを感じました。一方で、だれを選定するか決めるのが難しかったのですが、行政との情報共有で、より必要性の高い方に利用してもらえたことはとてもよかったです。

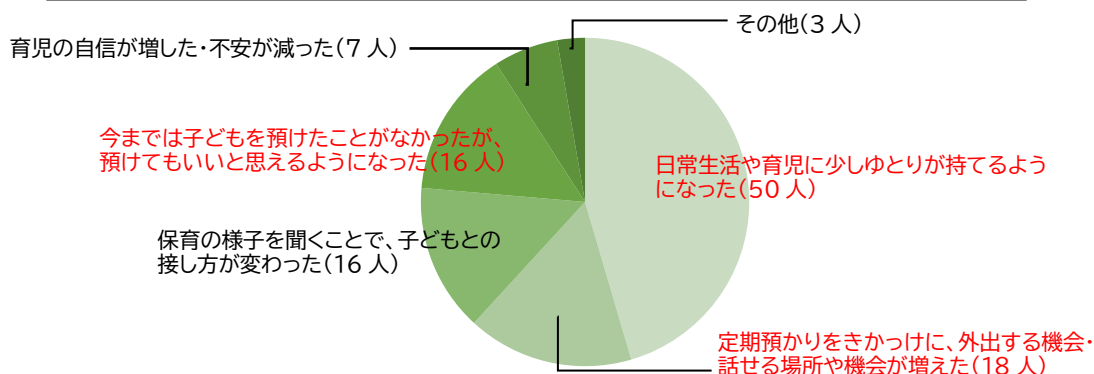
定期預かりを利用した保護者が、利用の前後でどのように変わったのか、アンケートの結果から考えてみました。（回答数 41 件）

『今までに、ファミサポや市の一時預かり、保育所などを利用したことがあるか』『これまで育児などについて相談する機会や場所があったか』という問いに対して、それぞれ、20 人が「利用した

ことがない」、2 人が「ない」と答えています。しかし、『利用する前後で、自身にどのような変化があったか』の回答（複数回答）には、「日常生活や育児に少しゆとりが持てるようになった」と答えた人が 30 人、「今までは子どもを預けたことがなかったが、預けていいと思えるようになった」16 人、「外出する機会・育児について話せる場所や機会が増えた」が 18 人いました。このことから、定期預かりをきっかけに、保護者自身が他者との関りが増え、孤立感の解消につながったのではないかと思います。



定期預かりを利用する前と後で、ご自身に変化はありましたか？複数回答可



また、交流会に参加した 25 人のうち、22 人が「育児の話ができてよかった」、20 人が「ほかの保護者の話が聞けてよかった」と答えています。お茶やケーキをいただきながらの交流会は気持ちもほぐれ、話しやすい雰囲気で行うことができました。他の保護者、スタッフ、ピアサポーターとおしゃべりから、育児について共感してもらえたり、育児のヒントをもらったりできたことも保護者の育児に向かう気持ちに余裕が生まれることにつながったと考えます。



▲交流会の様子

交流会の参加者が少ないクールもありました。体調不良での欠席もありましたが、何回かお誘いをしてでも参加されない方もいて、人との関わりが苦手なのかと想像できました。交流会は苦手でも、スタッフとの関りが続けられるように、預かりの当日キャンセルがあった時など、優先的に声をかけ、お子さんの預かりができました。

●定期預かりを利用された方の感想

- ・子ども自身いろんな大人の人がよくしてくれるという経験も出来て嬉しいです。
- ・産後大変な時期を助けていただき本当に感謝しています。初めて親族以外に預けたのですが、保育中の娘の様子を詳しく教えてくださって安心して預けることができました。
- ・保育者の方の対応や雰囲気に関しては、いつも笑顔で迎えて下さり、子どもを預ける罪悪感なく利用することができました。



▲定期預かりの様子

## (2) 子育て広場事業と SNS での相談事業

・実施回数 21 回 ・参加親子ののべ組数 65 組

子育て広場キッズパーク（以下 KP という）では、定期預かり利用者 41 組のうち、15 組の親子が KP を利用しており、15 組のうち 7 組は定期預かり利用後に KP に来てくれるようになりました。KP に参加、協力しているピアサポーターは、定期預かりの交流会にも参加しているので、KP にもつながりやすくピアサポーターの存在はとても有意義でした。ピアサポーターも、参加した保護者にとって癒される場であってほしい、育児の仲間として、そのがんばりや悩みや心配ごとを共有できる場でありたいと思いながら参加、協力してもらえました。

定期預かり利用者には公式ラインの登録をお勧めし、当団体とつながりやすくしました。実際にラインでの相談はありませんでしたが、KP やその他の活動について問い合わせや申し込みがあったり、定期預かり後に音沙汰のない方には、ラインで当団体の活動にお誘いをしたりして、つながりを途切れさせないようにできました。

### ●キッズパークを利用された方の感想

- ・同じぐらいの子の親さんと話せる機会があるのは嬉しい。
- ・スタッフの方も優しく、暖かい雰囲気でお話しかけてくださるので安心して話せる。
- ・ママ友が出来ました。お部屋は広くはありませんが、だからこそ動き回らず他のママさんとじっくりお話しすることができました。



▲子育て広場 キッズパークの様子

### 【まとめ】

今回の事業をきっかけに、保護者に「育児は助けてもらっていい」「ひとりじゃない」と気持ちに余裕をもってもらえたことはとても大きな成果であり、定期預りや子育て広場が、私たちの合言葉である「子育ては地域みんなで」を具現化したひとつであると言えます。定期預かり利用者のアンケートでは「今後、子育てのこともを話したい時、相談したい時、その場所としてキッズスクエア瑞穂は選択肢に入りますか？」に対し 90% 以上の方が「入る」と答えてくださっています。私たちはこれからも、ともに子育てする仲間として親子に寄り添い続け、みんなで子育てしていける地域づくりをしていきたいと思えます。

### 【今後の課題】

無園児家庭が孤立しないために定期預かりはとても有効で、この事業を継続していく意義は大きいです。今回、瑞穂市の幼児教育課や子育て支援課に、定期預かりと交流会の様子を視察していただき、非常に意義のある活動だと認識してもらえたので、実績と成果をきちんと報告し、行政での制度化が進むようにさらに働きかけをしていこうと考えています。

2025. 3

NPO 法人キッズスクエア瑞穂 〒501-0204 岐阜県瑞穂市馬場春雨町 1-49  
TEL/FAX 058-326-2236 kids.sq@dream.com

